

分厚い芝の上で 頑張っ



県庁正面玄関ロビー。激励会が行われている。



本校OBで教育長の末松史彦先生は、出場にあたって「卒業生としてこんなにうれしいことはない。非常に喜んでいきます。今井監督の指導のもとで努力されてきたことが実ったと思います」と喜びを

激励会終了後、列席されていた方々にお話を伺った。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

あらわにされた。また末松先生は、本校に勤めておられたこともあり、そのときに野球部が神宮大会に出場したこともあったということだ。「その時も東京のOBにとても歓迎された」と、振り返られた。また「ぜひとも甲子園に行きたい、という思いは神宮大会に行つてから非常に強くなつた」と話された。

スポーツ健康課長の西村幸夫さんからは「56年ぶりの出場おめでとうございます。甲子園では湖国旋風を巻き起こして、頑張つてきてください」と激励の言葉をいただいた。

学校教育課の前田光治先生にもお話を伺った。前田先生は、今井先生の前に本校野球部の監督をされていた。前田先生は「本番前は甲子園の近くに泊り込みで、缶詰になるだろうから、体調管理をしっかりして。甲子園の分厚い芝生の上で頑張ってください」

晴天のもとバント練習



と応援の言葉を贈られた。甲子園の芝は良く手入れされていて、他の球場の芝よりも厚いそうだ。

また、主将の新谷直弘君(26)は「いろいろな方々が応援してくださつて、多くの人に支えられていると感じたと激励会の感想を話した。

本日、野球部員は草津市の草津グリーンスタジアムに向かい、練習に励んだ。同スタジアムで紅白戦も行われた。一方、主将新谷君は途中で練習を終了し、今井義尚先生と江竜康成先生とともに明日の組み合わせ抽選会のために大阪へ向かった。抽選を前に



線が3本に くっついた

野球部の靴下についている赤2本線の模様が、3度目の甲子園出場に際して3本線にリニューアルされた。激励会には選手達はこの3本線の靴下をはいて臨んだ。(写真は京極秀平君が靴下をはいている様子。)

新谷君は「抽選会は楽しみにしているけれど、どのくじを引いても同じだと思ってる」。今井先生は「対戦校のことも考えるべきなのだろうけど、甲子園で試合をするんだという意欲の方が強くて、どこに対戦したい、ことは当たり前たくないという思いはない」と話された。

「いいくじ引いてきてくださいね」新聞部部长がエールを送ると「はい!」、新谷君はガッツポーズ付きで答えてくれた。